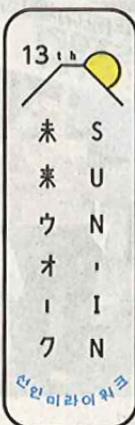




東郷池の景観を楽しみながら元気よく歩くウォーカー  
15日、湯梨浜町藤津

# 雨も楽し笑顔で完歩

倉吉市の倉吉パークスクエアを発着点に15日に開幕した「第13回SUN-IN未来ウォーキー」では、全国各地から参加したウォーカーたちが倉吉市と湯梨浜町を巡る340キロのコースを元気よく歩いた。雨が降るいま一歩なコンディションだったが、大会スタッフのもてなしでコース上には笑顔があふれた。



## おもてなし、ウォーカー癒やす

遠藤公章実行委員長の「よつこそ鳥取へ」との宣言で開幕。山田修平大会長が「雨もまた楽し」と全国から集ったウォーカーに呼び掛け、石田耕太郎倉吉市長や大会ボランティアらが「いってらっしゃい」と温かく送り出した。

長距離コースに参加したウォーカーは、風光明媚な湯梨浜町の東郷池や日本海などの景

色を楽しみながら歩き、初心者でも完歩しやすい3~10キロコースでは親子連れらが漫画「遙かな町へ」の舞台となる市街地をウォーキング。それぞれのペースでゴールを目指した。

地点となる同町の中国庭園燕趙園前では、東郷池で採れたシジミを使

舞われ、ウォーカーの体と心を温めた。ゴール地点では、学生ボランティアが「お疲れさまです」と完歩したウォーカーをやさしく迎え入れ、足の疲れ解消にと設置された足湯に漬かるウォーカーは「気持ちいい」とは「気持ちいい」と表情を緩ませていた。

全国各地のウォーキング大会に参加している山口県山陽小野田市の高津清一さん(63)は「駐車場が少ない大会もあるが、未来ウォーカーは駐車場が確保されている。コースも程よいアップダウンがあり、運動になる」と話していた。